

東京医師アカデミー クリニカルフェロー

腎移植内科医コース 募集要項

1) 応募資格	令和3年4月時点で、以下のすべての要件を満たしている方 ① 日本内科学会認定医、腎臓専門医取得済 ② 筆頭著者の論文が1編以上あること。
2) 募集人員	1名程度
3) 所属先	公益財団法人東京都保健医療公社大久保病院 腎内科
4) 研修期間	3年間
5) 選考日	令和2年11月2日(月)(予定)
6) 選考会場	応募者に直接連絡いたします。
7) 選考方法	個別面接(20分程度)、口頭試問(20分程度)
8) 合否連絡	選考後3週間以内に合否をご本人にご連絡いたします(合格通知後1週間以内に誓約書の提出をお願いいたします)。
9) 応募方法 提出書類	以下のものを申込期限までに下記 11) の申込先に郵送すること。 ① 応募用紙兼履歴書 ② 医師免許証の写し ③ 認定医・専門医等の資格証明書の写し ④ 推薦状2通 ※提出いただいた書類はご返却できませんので予めご了承ください。
10) 申込期限	令和2年10月5日(月)必着
11) 申込先及び 問合せ先	〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一本庁舎24階中央 病院経営本部経営企画部職員課医師アカデミー担当 (電話)03-5320-5861
12) コース内容 に関する 問合せ先	白川 浩希(東京都保健医療公社大久保病院 泌尿器科・移植外科部長) (電話)03-5273-7711(代表)
13) 備考	選考日当日は、医師免許証の原本を持参すること。

腎移植内科医コース

主たる研修病院 (所属病院)	東京都保健医療公社 大久保病院	
連携して研修する病院・ 施設(予定)	東京女子医科大学泌尿器科・腎臓内科	
研修時に必要と する知識・技量 (応募資格)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本内科学会認定内科医、腎臓専門医を取得していること。 ・筆頭著者の論文が1編以上あること。 ・チーム医療の一員として十分なコミュニケーション能力を有すること。 	
コース 責任者	氏名(所属)	若井 幸子 (東京都保健医療公社大久保病院 副院長)
	資格名	日本腎臓学会評議員、日本内科学会指導医、日本腎臓学会指導医 日本透析医会指導医、日本内科学会総合内科専門医 日本腎臓学会専門医、日本透析医会専門医、日本移植学会認定医 日本臨床腎移植学会認定医
	専門分野	腎疾患一般、慢性腎不全、 腎代替療法(血液透析、腹膜透析、腎移植)
臨床指導体制	<ol style="list-style-type: none"> 1) 腎移植患者の術前術後管理、外来管理などの臨床業務を行い、腎移植症例の経験、腎移植のチーム医療の実践を学びます。 2) 移植腎生検の手法習得(年間約80件) 3) 腎内科回診・移植外科回診、透析チャートラウンド 4) 腎移植カンファランス、腎・移植腎病理カンファランス、東京女子医科大学泌尿器科腎移植カンファランスに参加 カンファランスでの症例の分担発表 4) 透析カンファランス、内科カンファランスへの参加 5) 腎臓内科、透析、移植学会への参加および演題発表、論文投稿の指導 6) 希望により大学院入学 	
臨床 研究	これまで 行ってきた 研究と実績	<ol style="list-style-type: none"> 1) 抗体関連型慢性拒絶反応の検討 2) 移植後再発性IgA腎症の検討 3) 高齢ドナー・高齢レシピエントの検討 4) 高感作症例における抗CD20抗体製剤の治療効果の検討 5) 上記研究を国内学会(日本臨床腎移植学会、日本移植学会、移植腎病理研究会)、国際学会(ヨーロッパ移植学会、アジア移植学会)に発表 6) 上記研究内容や症例報告を和文、英文学会誌へ投稿
	今後行う 研究と 研究体制	<ol style="list-style-type: none"> 1) 移植後TMAの臨床研究(日本移植学会による) 2) 抗体関連型慢性拒絶反応の治療法の検討 3) 末梢リンパ球数と移植後感染症の関連性の検討 4) ドナーの長期予後の評価検討 5) 再発性腎炎の検討(IgA腎症、巣状系球体硬化症等)
研修項目	<ol style="list-style-type: none"> 1) 担当医として入院患者を担当し、その後の外来診療に携わる。 2) 免疫抑制剤投与管理の習熟 3) 腎移植手術見学または参加(ドナー・レシピエント) 4) 移植腎超音波検査、移植腎生検(年間80件)手法習得 5) 学会・研究会での発表(年3回以上) 6) 英文を含む論文執筆(年間2編以上) 7) ジュニアレジデント及びシニアレジデントの指導 	
研修内容・達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 腎移植患者の診療能力の向上 2) 腎移植患者(ドナー・レシピエント)の術前評価ができる。 3) 移植腎超音波および移植腎生検の技術修得 4) 未取得である場合は臨床腎移植学会認定または日本移植学会 腎移植認定の取得 5) 腎移植関連の臨床研究を行い、国際学会発表、英文論文を作成する。 	
コース内容に関する 問合せ先	白川 浩希 (東京都保健医療公社大久保病院 泌尿器科・移植外科部長) TEL:03-5273-7711(代表)	